

ICHIKURA CO.,LTD.

2024年3月期 決算説明資料



2024年5月
株式会社一蔵
(東証スタンダード市場：6186)

目次

I.	2024年3月期 決算概況	P.	3
II.	2025年3月期 業績予想・株主還元	P.	16
III.	今後の施策	P.	23
IV.	会社概要	P.	33
V.	参考資料	P.	35

I . 2024年3月期 決算概況

2024年3月期 連結決算概況

(百万円/%)

	2023.3期 実績	2024.3期 実績	対前期 増減額	対前期 増減率
売上高	19,747	20,429	681	3.5
売上総利益	12,122	12,567	445	3.7
販売費及び一般管理費	11,568	12,301	732	6.3
営業利益	553	266	△287	△51.9
経常利益	570	331	△238	△41.8
親会社株主に帰属する 当期純利益	597	629	32	5.4
EPS (1株当たり当期純利益)	108円32銭	114円13銭	5円81銭	—

売上高は、通期としては過去最高を記録いたしました。

営業利益・経常利益は、期初より計画しておりましたが、給与水準引上げに伴う人件費増、顧客獲得に向けた広告宣伝費増などにより、前期を下回りました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、繰延税金資産の計上により、前期実績を上回る結果となりました。

2024年3月期 セグメント別連結決算概況

(百万円/%)

和装事業	2023.3期 実績	2024.3期 実績	対前期 増減額	対前期 増減率
売上高	14,819	15,050	230	1.6
販売売上	8,011	8,110	99	1.2
レンタル売上	1,863	1,867	3	0.2
加工売上	1,449	1,672	223	15.4
写真売上	2,898	2,764	△133	△4.6
その他売上	597	635	38	6.4
セグメント利益	847	660	△187	△22.1

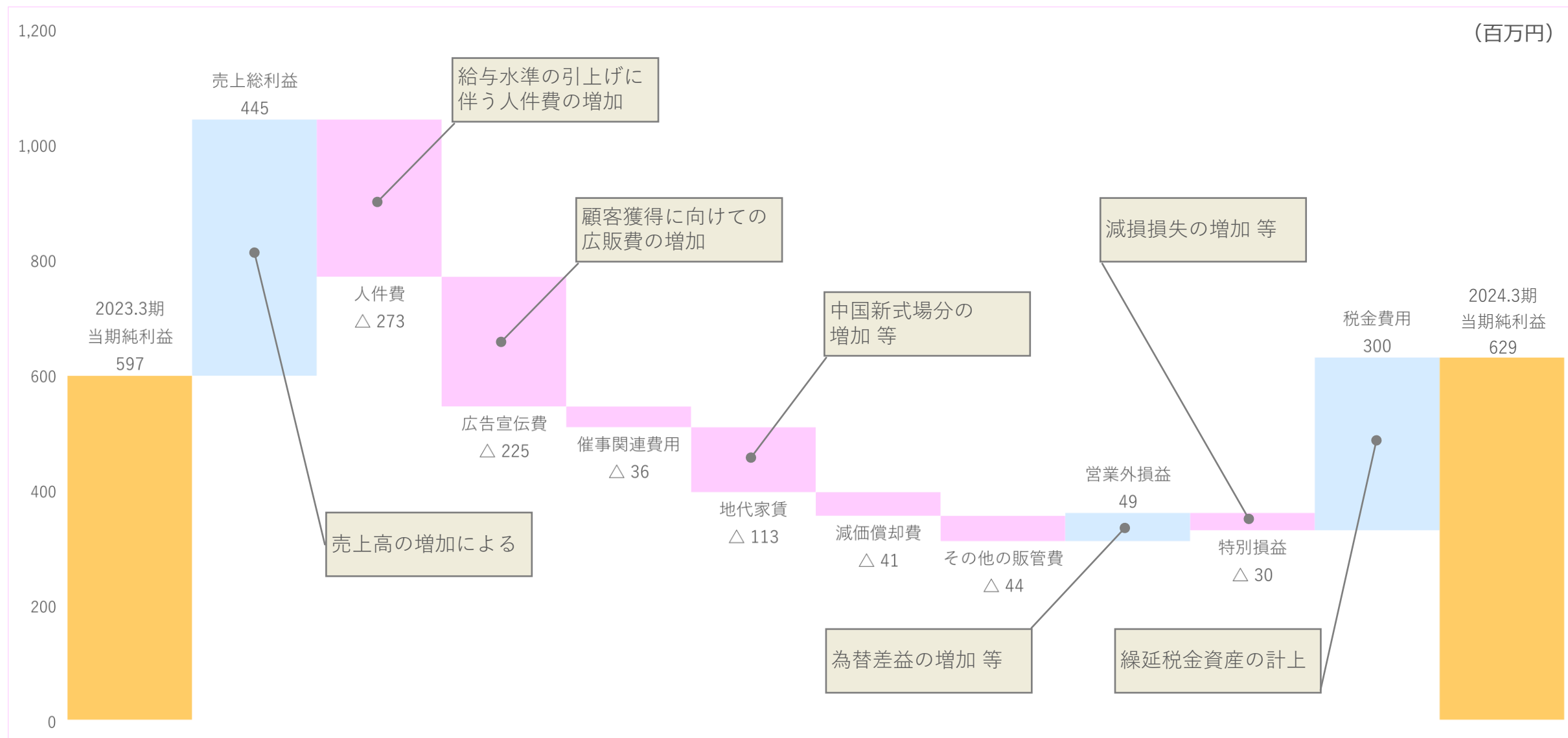
<和装事業>
受注が堅調に推移し、売上高は前期を上回りました。受注獲得に向けて広告宣伝費を積極投下したことなどにより、セグメント利益は前期実績を下回る結果となりました。

(百万円/%)

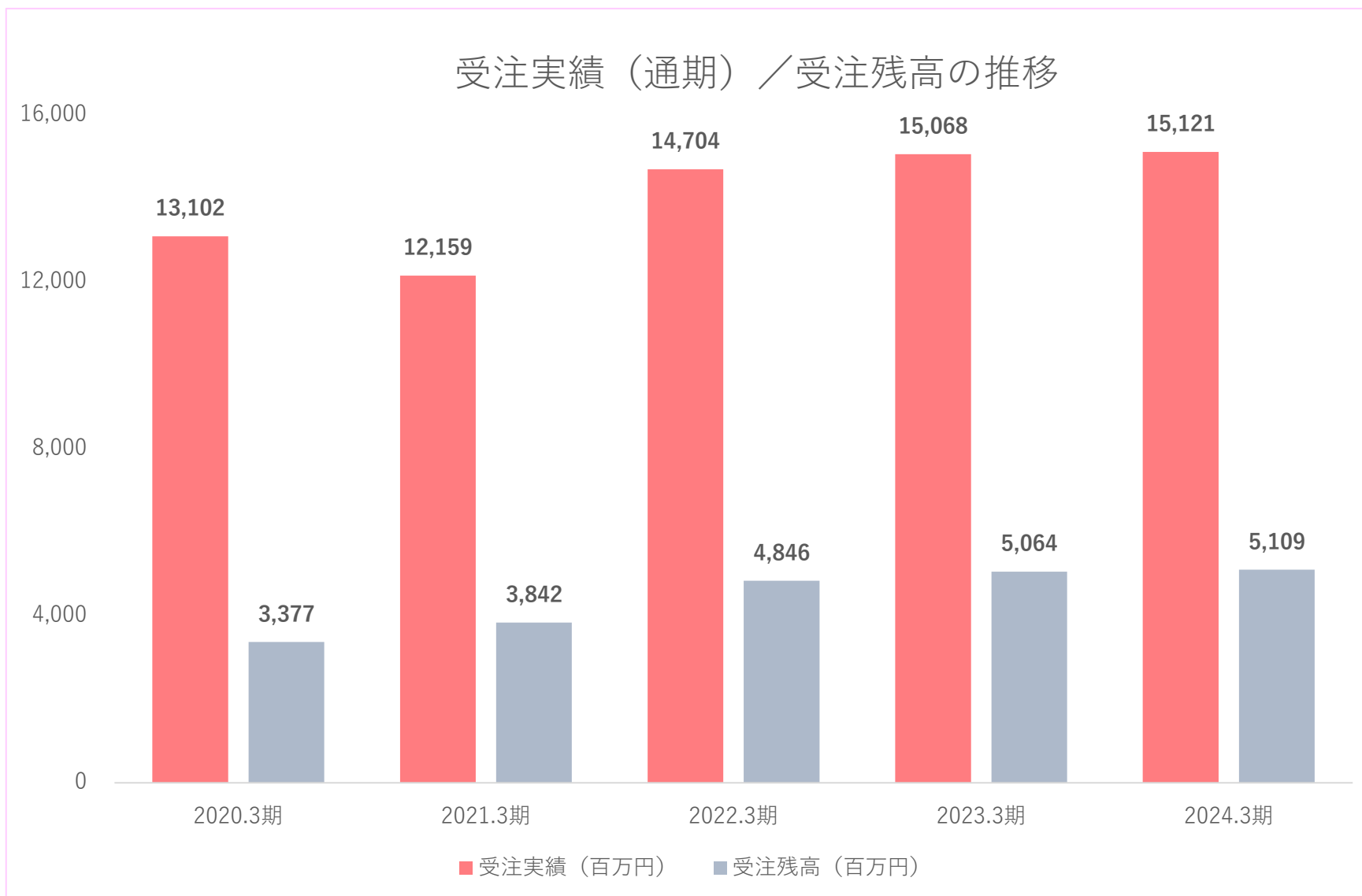
ウエディング事業	2023.3期 実績	2024.3期 実績	対前期 増減額	対前期 増減率
売上高	4,928	5,379	451	9.2
セグメント利益	427	348	△78	△18.5

<ウエディング事業>
国内式場は施行組数が減少したものの、中国式場が通常稼働に戻り、売上高は前期比で増加いたしました。人件費、地代家賃・減価償却費の増加などにより、セグメント利益は前期実績を下回る結果となりました。

2024年3月期 当期純利益の増減分析



和装事業 受注実績／受注残高の推移



➤ 受注実績（通期）

対前期増減額
：53百万円増

対前期増減率
：0.4%増

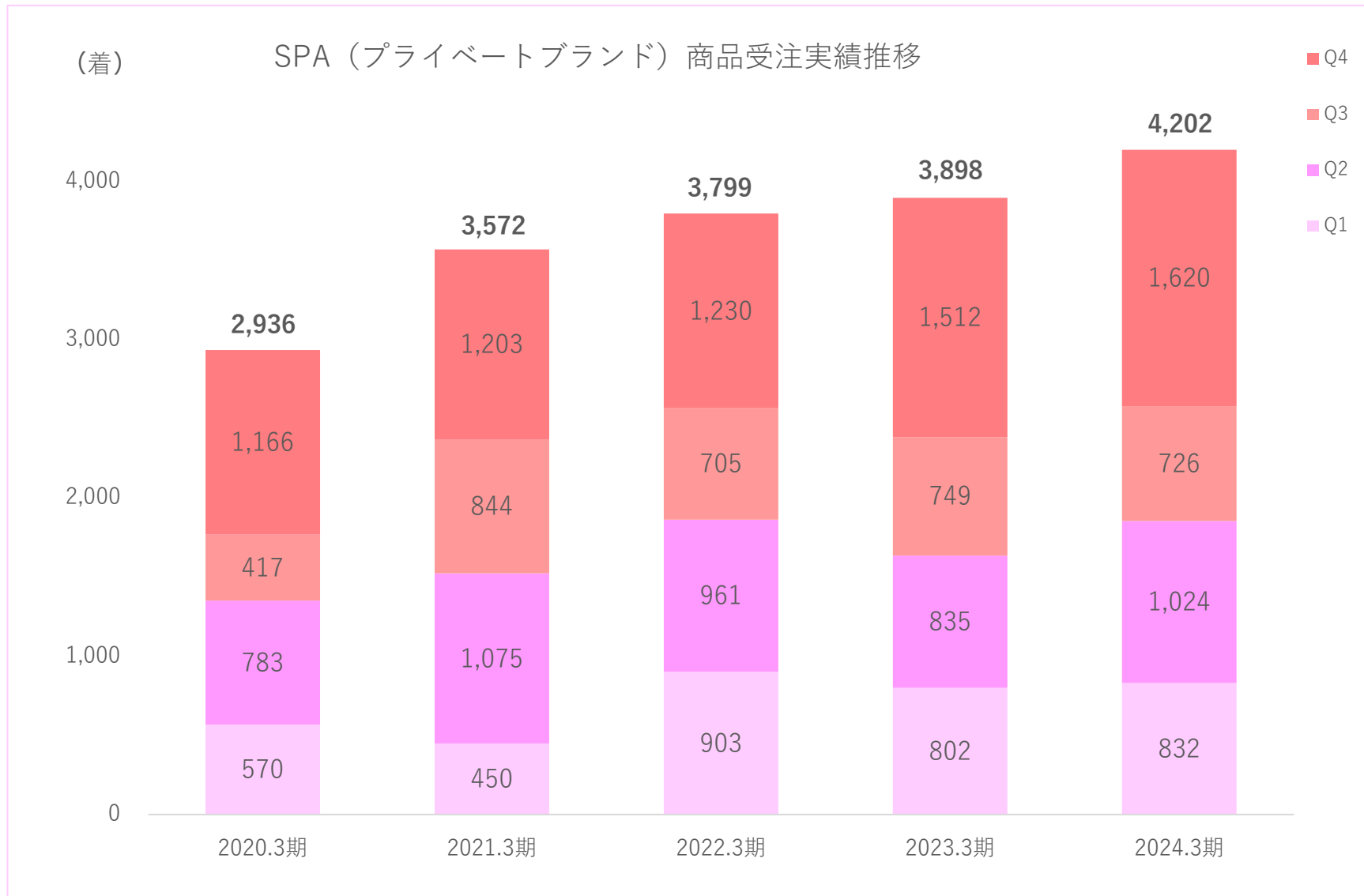
➤ 当期末受注残高

対前期末増減額
：44百万円増

対前期末増減率
：0.9%増

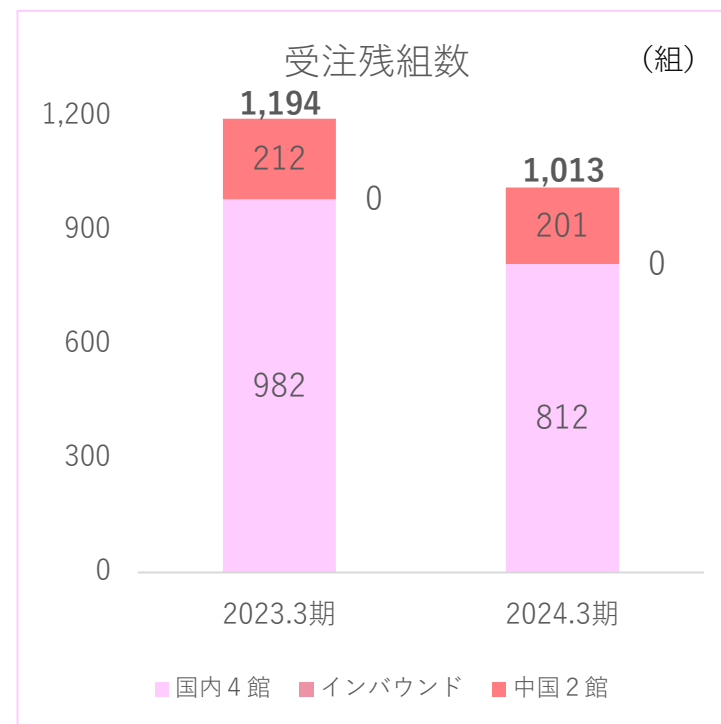
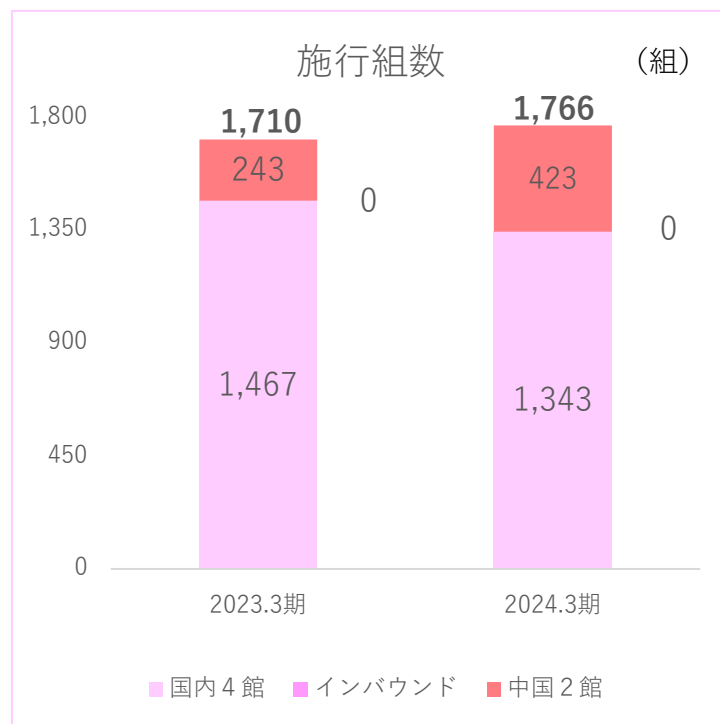
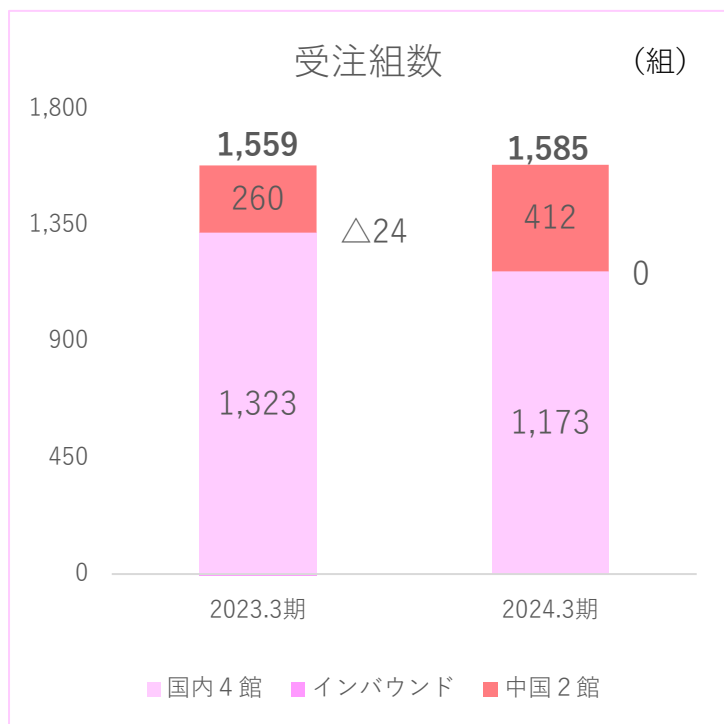
➤ 受注は堅調に推移し、受注実績（通期）、受注残高ともに微増ながらも、過去最高を記録いたしました。

和装事業 SPA（プライベートブランド商品）受注実績の推移



- 通期受注実績
対前期増減枚数
：304枚増
対前期増減率
：7.8%増
- 通期で29柄の新作を発売。
過去に発表している柄行
も安定した人気を集め、
通期としては過去最高の
受注を記録いたしました。

ウェディング事業 受注／施行／受注残実績



<国内4館> 前期の受注/施行が好調に推移したこともあり、当期の受注組数/施行組数いずれも前年同期を下回る結果となりました。受注残組数は812組と前期末比170組減（17.3%減）となりました。

<中国2館> 前年のロックダウンの解消や2022年9月の嘉美麓徳高端婚礼会館 虹橋店（Camelot-Hills Shanghai Hongqiao）のオープンもあり、受注組数は前期比152組増（58.5%増）、施行組数は前期比180組増（74.1%増）となりました。受注残組数は施行組数の増加もあり、前期末比11組減（5.2%減）となりました。

◆「第75回 京友禅競技大会」にて、当社が企画・製作に携わった振袖が インクジェット部門の「私の好きなきもの大賞」を受賞いたしました



2024年2月開催の「第75回 京友禅競技大会」において、当社が企画・製作に携わった振袖が、インクジェット部門の「私の好きなきもの大賞」を受賞いたしました。

本競技大会は、今年で75回目を数える、京都で最大規模の展示会です。

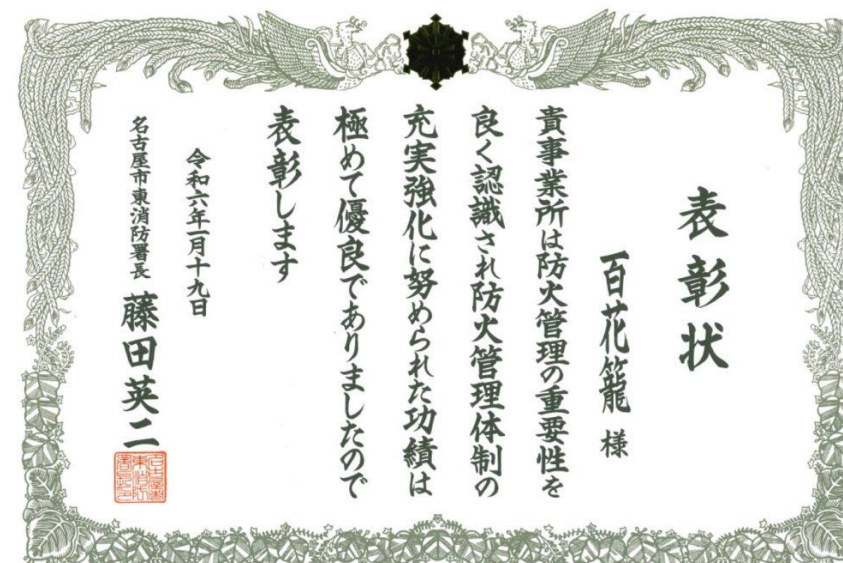
長い歴史と伝統の中で培われた京友禅の匠の技と意匠を受け継ぎ、製作された作品の紹介を目的に、今回は160点を超える京友禅の新作が出展されました。

（共催：京友禅協同組合連合会・京都友禅協同組合）

当社は、これからもますます企画・製作に磨きをかけ、価値ある商品開発に取り組んでまいります。

◆ 【百花籠】 名古屋市東区優良防火管理事業所として表彰されました

2024年1月19日に名古屋市東消防署で行われた消防表彰式において、事業所全体で自主防火管理についての積極的な取り組みが認められ、百花籠が『優良防火管理事業所』として表彰されました。



◆ 【キャメロットヒルズ】 カンテレ製作・フジテレビ系列テレビドラマ「春になったら」の撮影協力をいたしました

◆ 【ネオス・ミラベル】 ABCテレビ・テレビ朝日系列テレビドラマ「アイのない恋人たち」の撮影協力をいたしました

2024年3月期 第4四半期 トピックス

◆ 【いち溜】 淑徳与野高等学校にて和装講座を実施いたしました

2024年1月26日、CSR活動の一環として、淑徳与野高等学校にて「日本文化ときもの」と題して和装講座を実施いたしました。本講座は韓国からの留学生を対象に行われ、より深く日本文化を知っていただく機会となりました。



◆ NPO法人 乳房健康研究会に寄付を行いました

2020年より実施している寄付ですが、今年で5回目となりました。
ピンクリボンパートナーとして、寄付を通してピンクリボン運動を
推進してまいります。



一蔵はピンクリボン運動を応援します

◆ 令和6年能登半島地震における災害義援金について

この度の能登半島地震で被災された方々に、謹んでお見舞いを申し上げます。
当社は、被災した地域への支援として、『石川県令和6年能登半島地震災害義援金』の口座へ
300万円の義援金をお送りいたしました。

お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災地の一日も早い復旧と復興を
お祈り申し上げます。

2024年3月期 連結貸借対照表

(百万円/%)

	2023.3 末残高	2024.3 末残高	対前期末増減率
流動資産	9,905	10,547	6.5
固定資産	9,230	9,560	3.6
有形固定資産	7,348	7,506	2.1
無形固定資産	170	163	△4.3
投資その他の資産	1,711	1,890	10.5
資産合計	19,136	20,107	5.1
流動負債	12,581	12,324	△2.0
固定負債	2,560	3,251	27.0
負債合計	15,142	15,575	2.9
純資産合計	3,994	4,531	13.5
負債純資産合計	19,136	20,107	5.1
自己資本比率 (%)	20.9	22.5	+ 1.6pt
借入依存度 (%)	29.3	28.7	△0.6pt
BPS (1株当たり純資産)	724円39銭	821円95銭	13.5

【主な増減理由】

➤ 資産の部

- ・ 現預金の増加 295百万円
- ・ 建物及び構築物（純額）の減少 △108百万円
- ・ 建設仮勘定の増加 285百万円
- ・ 繰延税金資産の増加 383百万円

➤ 負債の部

- ・ 短期借入金の減少 △580百万円
- ・ 未払金の増加 140百万円
- ・ 長期借入金の増加 768百万円
（含1年内返済予定）
- ・ 資産除去債務の増加 127百万円

➤ 純資産の部

- ・ 当期純利益 629百万円
- ・ 配当金の支払 △115百万円

2024年3月期 連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	2023.3期 実績	2024.3期 実績	対前期 増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	1,063	699	△364
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,494	△687	806
財務活動による キャッシュ・フロー	10	50	39
現金及び現金同等物 に係る換算差額	34	45	11
現金及び現金同等物 の増減額	△385	107	493
現金及び現金同等物 の期首残高	1,640	1,254	△385
現金及び現金同等物 の期末残高	1,254	1,361	107

【主な増減理由】

- 営業活動によるCF
 - ・税金等調整前当期純利益の減少 △268百万円
 - ・前受金の増減額 △321百万円
 - ・減価償却費の増加 +41百万円
 - ・未払消費税等の増減額 +95百万円
- 投資活動によるCF
 - ・固定資産の取得による支出の減少 +623百万円
 - ・投資有価証券の取得による支出の減少 +200百万円
- 財務活動によるCF
 - ・短期借入金の借入・返済 △270百万円
 - ・長期借入金の借入・返済 +349百万円
 - ・配当金の支払額の増加 △38百万円

II. 2025年3月期 業績予想・株主還元

2025年3月期 連結業績予想

(百万円/%)

	2024.3期 実績	2025.3期 予想	対前期 増減額	対前期 増減率
売上高	20,429	20,758	328	1.6
売上総利益	12,567	12,854	287	2.3
販売費及び一般管理費	12,301	12,337	36	0.3
営業利益	266	517	251	94.4
経常利益	331	511	179	54.2
親会社株主に帰属する 当期純利益	629	467	△162	△25.8
EPS (1株当たり当期純利益)	114円13銭	84円70銭	△29円43銭	—

2025年3月期も、エネルギー・素材価格、為替の変動等、依然として先行き不透明な状況が続くことが予想されます。

当社におきましては、引続き、和装事業では、プライベートブランド商品の更なる強化、きもの着方教室「いち溜」の強化、加盟店の開拓強化等、ウエディング事業では、写真関連事業の強化、中国ウエディング事業の推進等、各種施策を着実に推進してまいります。

2025年3月期 セグメント別連結業績予想

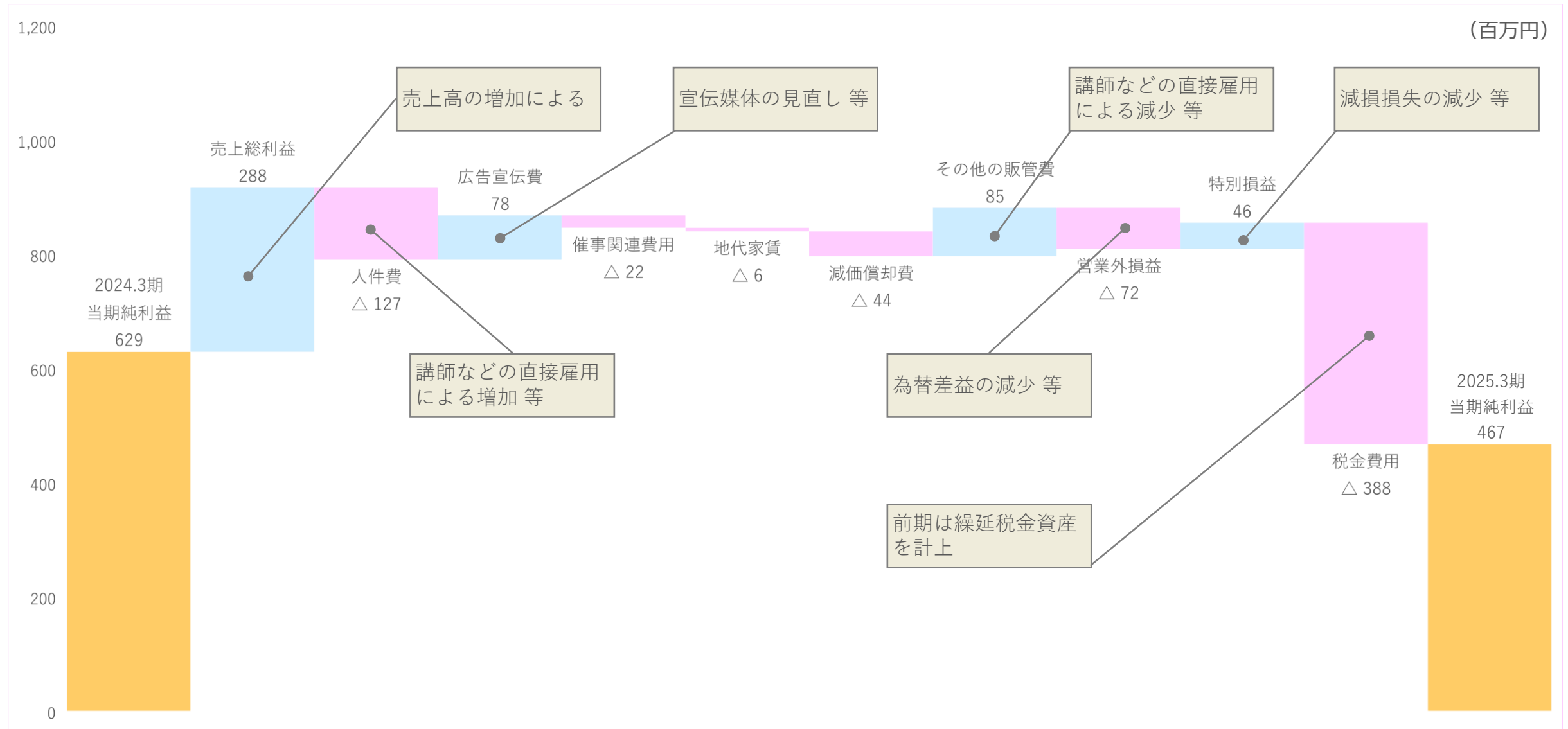
(百万円/%)

和装事業	2024.3期 実績	2025.3期 予想	対前期 増減額	対前期 増減率
売上高	15,050	15,022	△27	△0.2
販売売上	8,110	7,991	△118	△1.5
レンタル売上	1,867	1,962	95	5.1
加工売上	1,672	1,657	△15	△0.9
写真売上	2,764	2,760	△3	△0.1
その他売上	635	650	14	2.3
セグメント利益	660	914	254	38.6

(百万円/%)

ウェディング事業	2024.3期 実績	2025.3期 予想	対前期 増減額	対前期 増減率
売上高	5,379	5,735	356	6.6
セグメント利益	348	450	101	29.3

2025年3月期 当期純利益予想の増減分析



株主還元 ①

【配当金】

(円)

1株当たり配当金	2022.3期 実績	2023.3期 実績	2024.3期 予定	2025.3期 予想
中間配当	—	—	—	—
期末配当	14.00	21.00	28.00	28.00
合 計	14.00	21.00	28.00	28.00

当社グループは、株主の皆様に対する利益還元と内部留保の充実を総合的に勘案し、将来の事業展開と経営体質の強化を考慮しつつ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としております。2024年3月期の期末配当につきましては、1株当たり28円とさせていただきます。2025年3月期につきましては、1株当たり28円の配当予想とさせていただきます。

株主還元 ②

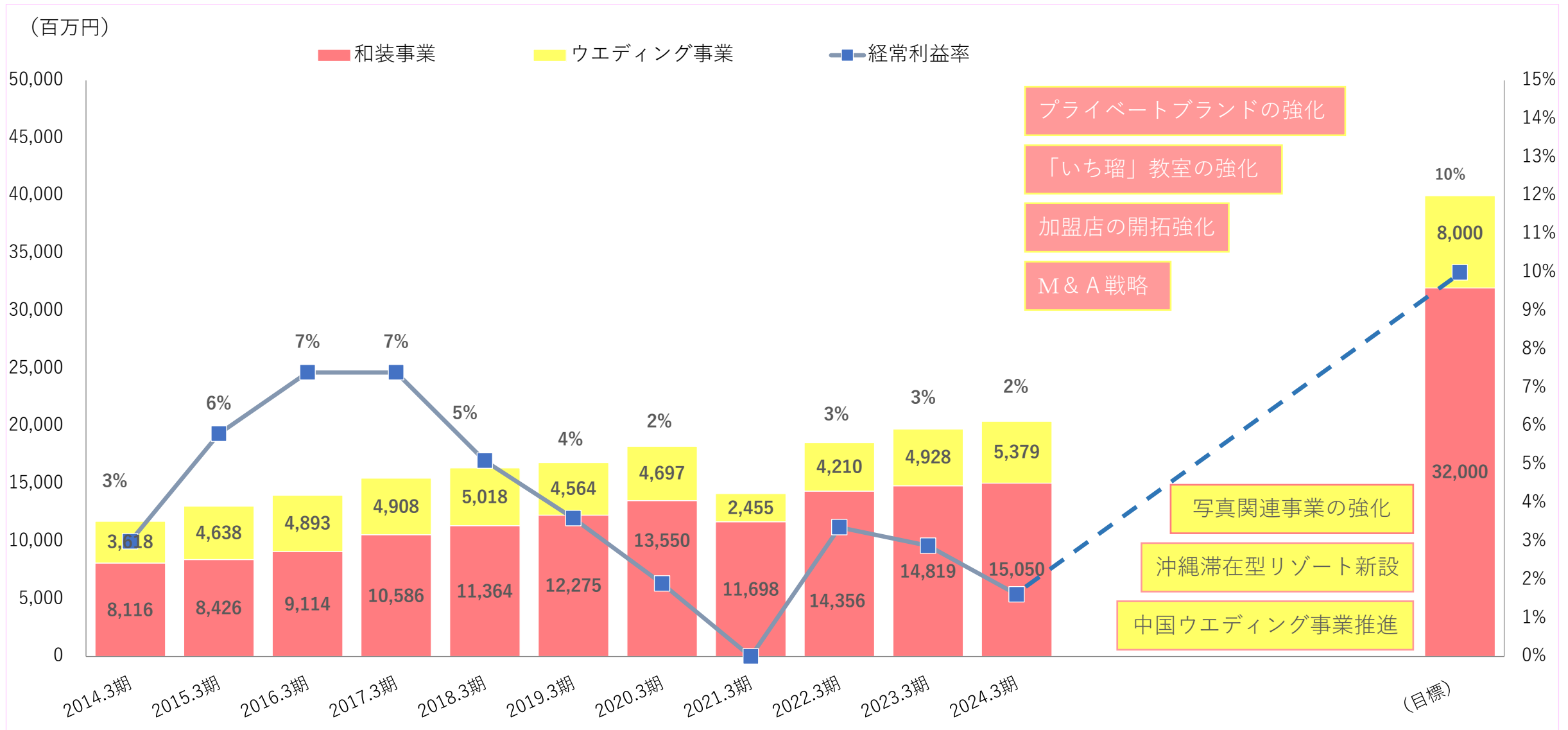
【株主優待制度】

権利確定月	3月末日
単元株数	100株
株主優待の内容	<p>100株以上：下記①から⑥よりいずれかひとつご利用いただけます。 (和装事業)</p> <p>① 店舗にて100,000円以上（税込）のお代の場合 10,000円割引 ② 店舗にて100,000円未満（税込）のお代の場合 5,000円割引</p> <p>(ウエディング事業)</p> <p>③ 結婚式場でのコンサート & ディナー 1名様につき3,000円割引 ④ 結婚式場でのランチ 1名様につき3,000円割引 ⑤ レストラン（自社及び提携） 1名様につき3,000円割引 ⑥ フラワーギフト5,500円以上(税込) 送料別ご注文の場合 3,000円割引</p> <p>※ ③から⑤につきましては、株主様ご優待券1枚につき2名様までご利用可能です。</p>

<提携レストラン>

- ・ Restaurant Perfumes (東京都品川区東五反田4 - 7 - 29 NK五反田ビル1F)
- ・ IL GHIOTTONE (京都府京都市東山区下河原通塔ノ前下ル八坂上町388 - 1)
- ・ IL GHIOTTONE di piu (大阪府大阪市北区大深町3 - 1 グランフロント大阪 北館1F)

中長期の成長イメージ（売上高、経常利益率推移）

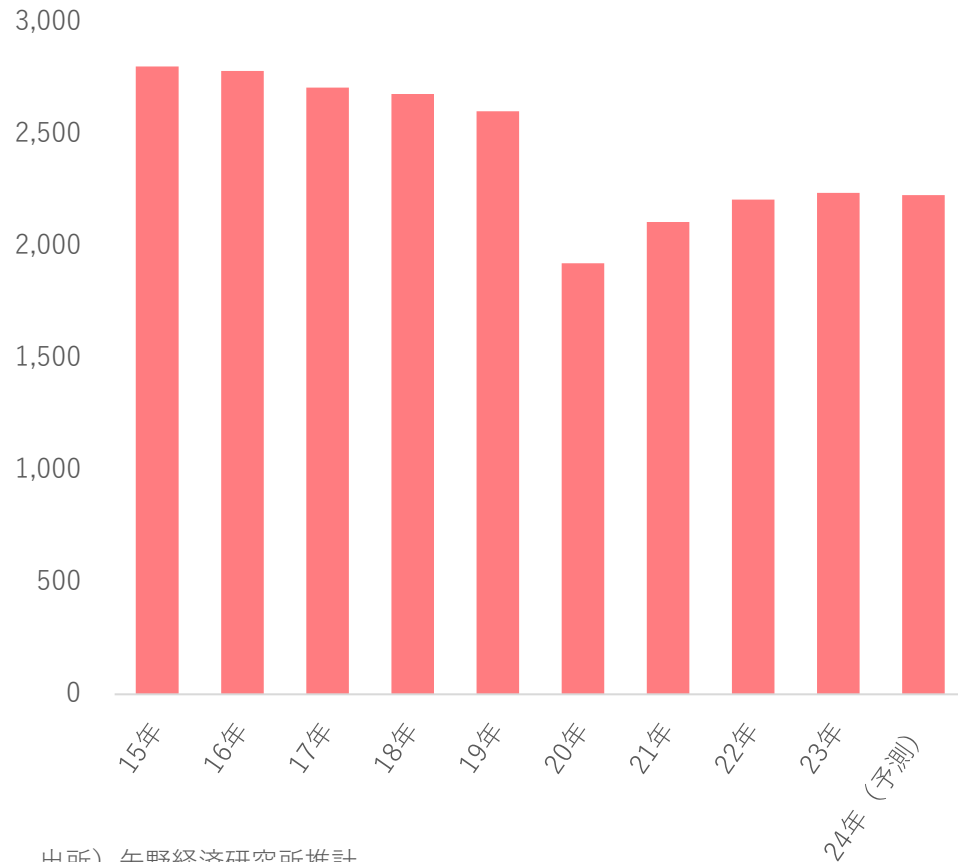


III. 今後の施策

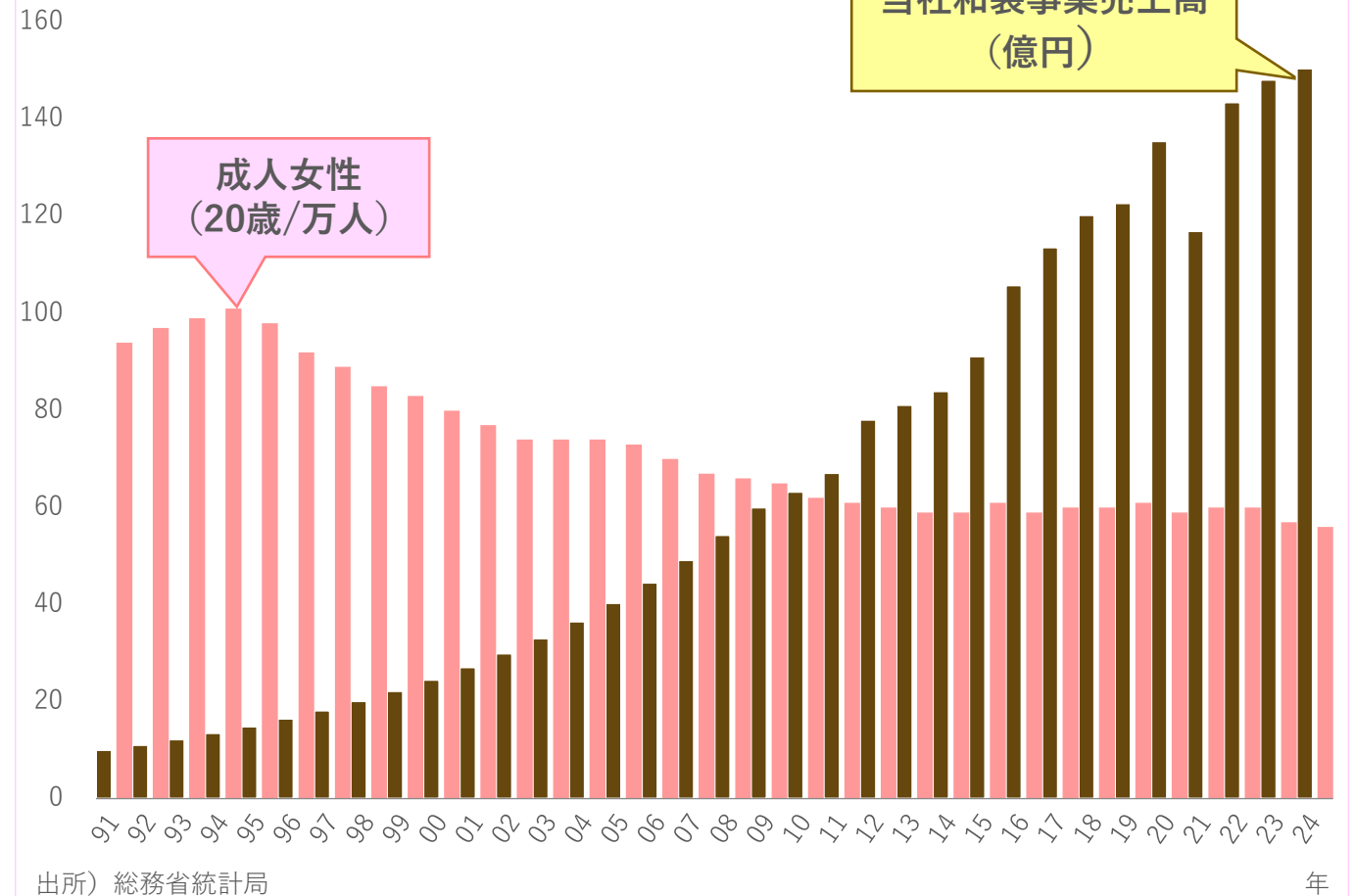
和装業界について

2024年の小売市場規模は2,230億円の予測

呉服小売市場規模の推移（億円）



成人女性(20歳)が4割減少するなか、和装事業の売上高は約15倍に拡大



和装事業の施策（プライベートブランドの更なる強化）

▶ 京友禅競技大会で当社が企画・制作に携わった作品が各賞を受賞



第75回



第74回



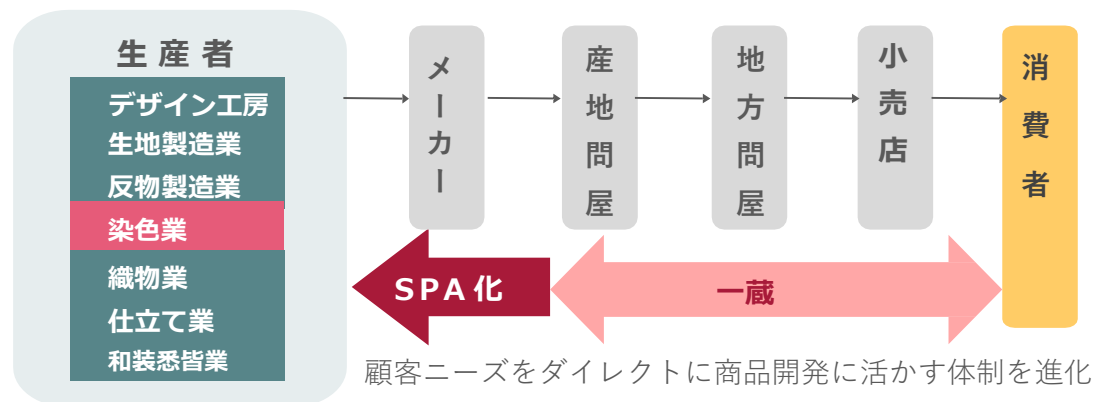
第73回

*独自のデザイン性、染色技術の高さが評価されております。

- ◆第75回京友禅競技大会
 - ・私の好きなきもの大賞
- ◆第74回京友禅競技大会
 - ・インクジェット優秀賞
- ◆第73回京友禅競技大会
 - ・京都市産業技術研究所理事長賞
 - ・インクジェット優秀賞
- ◆第72回京友禅競技大会
 - ・京都市産業技術研究所理事長賞
 - ・インクジェット優秀賞

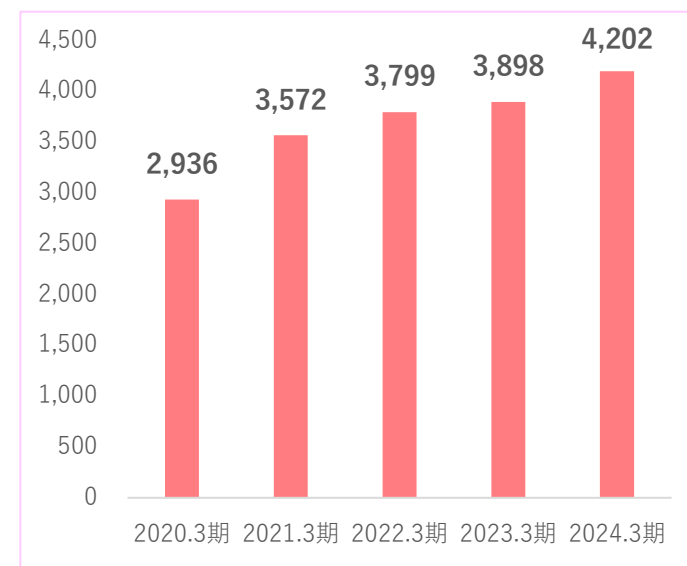
▶ プライベートブランド（SPA）*

- ・小ロット生産が実現可能となり、柄数を増やすことが出来ることになった結果、消費者ニーズにマッチした商品をよりリーズナブルな価格で提供が可能
- ・白生地から制作することが出来ることになった結果、原価を抑えて制作することが可能



*「SPA」とは、Specialty store retailer of Private label Apparelの略で、「製造小売」の意味です。
企画から製造、小売までを一貫して行うビジネスモデルを指します。

▶ PB商品受注実績推移（着）



和装事業の施策（きもの着方教室「いち溜」の強化）

➤ 教室出店による生徒数増/教室受注増

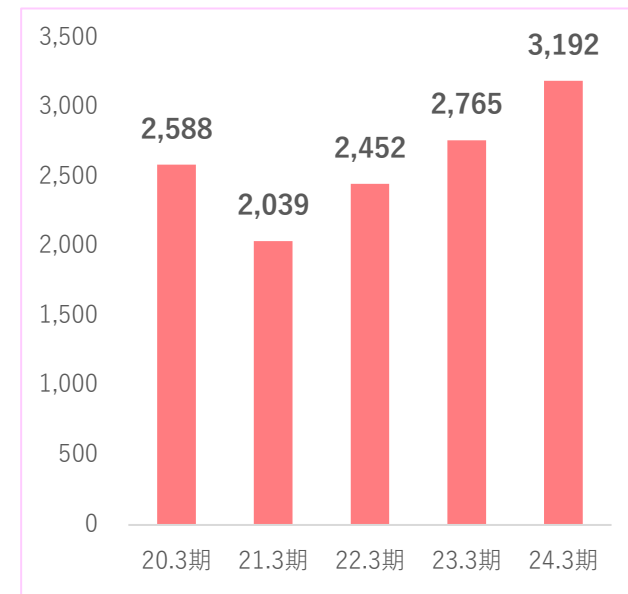


いち溜イメージモデル：俳優 黒谷友香さん

■ 教室数（常設）/生徒数（年累計）推移



■ 教室受注高（百万円）



常設の「いち溜」教室数は、2024年3月末時点で53教室となりました。当社の異ブランド教室「いち波」からのブランドチェンジも含め、前期末比で8教室増加しております。

教室数の増加に伴い生徒数も着実に増加。教室での受注も増え、2024年3月期の教室受注高は前期比15.4%増の3,192百万円と大幅に増加いたしました。

和装事業の施策（加盟店の開拓強化・SCへの出店強化）

➤ 加盟店の開拓強化

ローコストでの店舗網拡大
 ICHIKURA、Ondineブランドの販路拡大

➤ SC（ショッピングセンター）への出店強化

従来のオフィスビルへの出店に加え、SCへの出店を強化
 新たな顧客層の取込



■ 店舗数推移

	2021.3期	2022.3期	2023.3期	2024.3期
JTS直営店	49	52	54	59
オンディーヌ直営店	26	26	26	20
直営店合計	75	78	80	79

	2021.3期	2022.3期	2023.3期	2024.3期
加盟店	17	19	22	25

	2021.3期	2022.3期	2023.3期	2024.3期
店舗合計	92	97	102	104



和装事業の施策（きものを着る機会の創出）

➤ UKA（Universal Kimono Award）の開催



「日本文化ときものを未来につなぐ、サステナブルプロジェクト」として当社グループ主催のきものコンテスト「UKA（Universal Kimono Award）」。
今年は12月4日に開催予定。
日常を楽しむファッションとして、きものを着る機会を提供し、きものが本来持っている価値や新たな魅力と可能性を最新トレンドと併せて発信してまいります。

➤ 「きものdeおでかけ」イベントの開催

せっかくきものを着れるようになったら、きもので街を歩いてみませんか？着る機会がない、きもの好きな友人がまわりにはいないからといってきものを着るのをためらっていませんか？

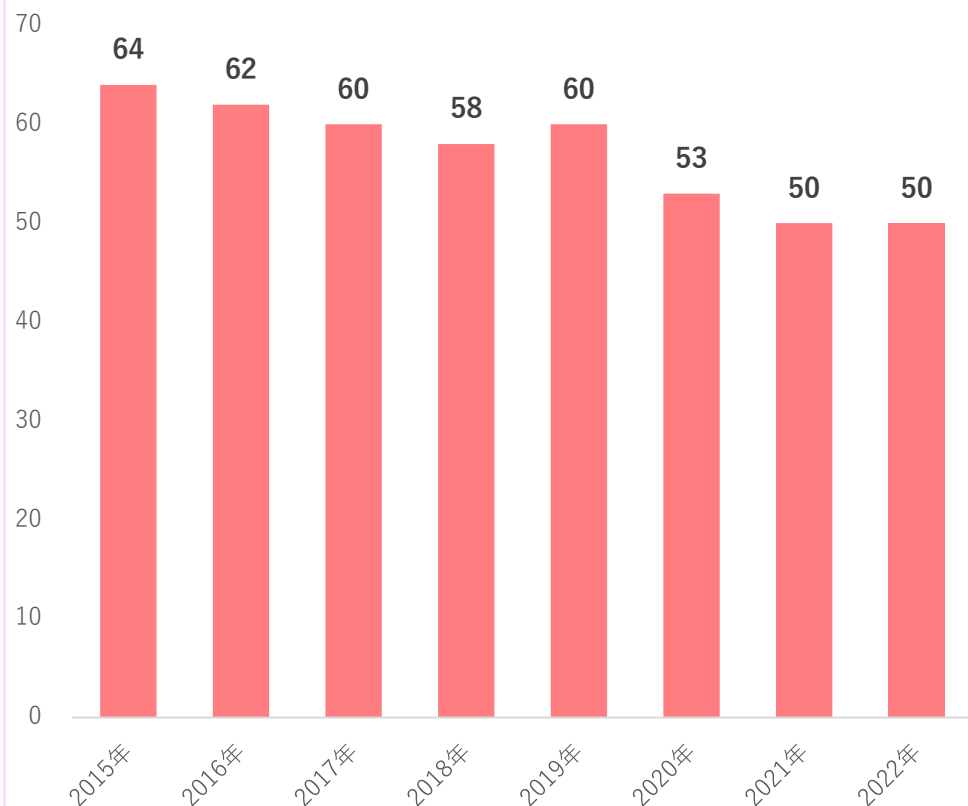
いち溜では希望者対象に、「きものdeおでかけ」イベントを毎月開催しております。きもの楽しさは何気ない毎日の暮らしの中にもたくさんあります。いつもの趣味の時間やよく行く街も、きものを着ることで別の楽しさが見つかったりするので。



ウェディング業界について

2022年は「504,930組」とほぼ横ばい

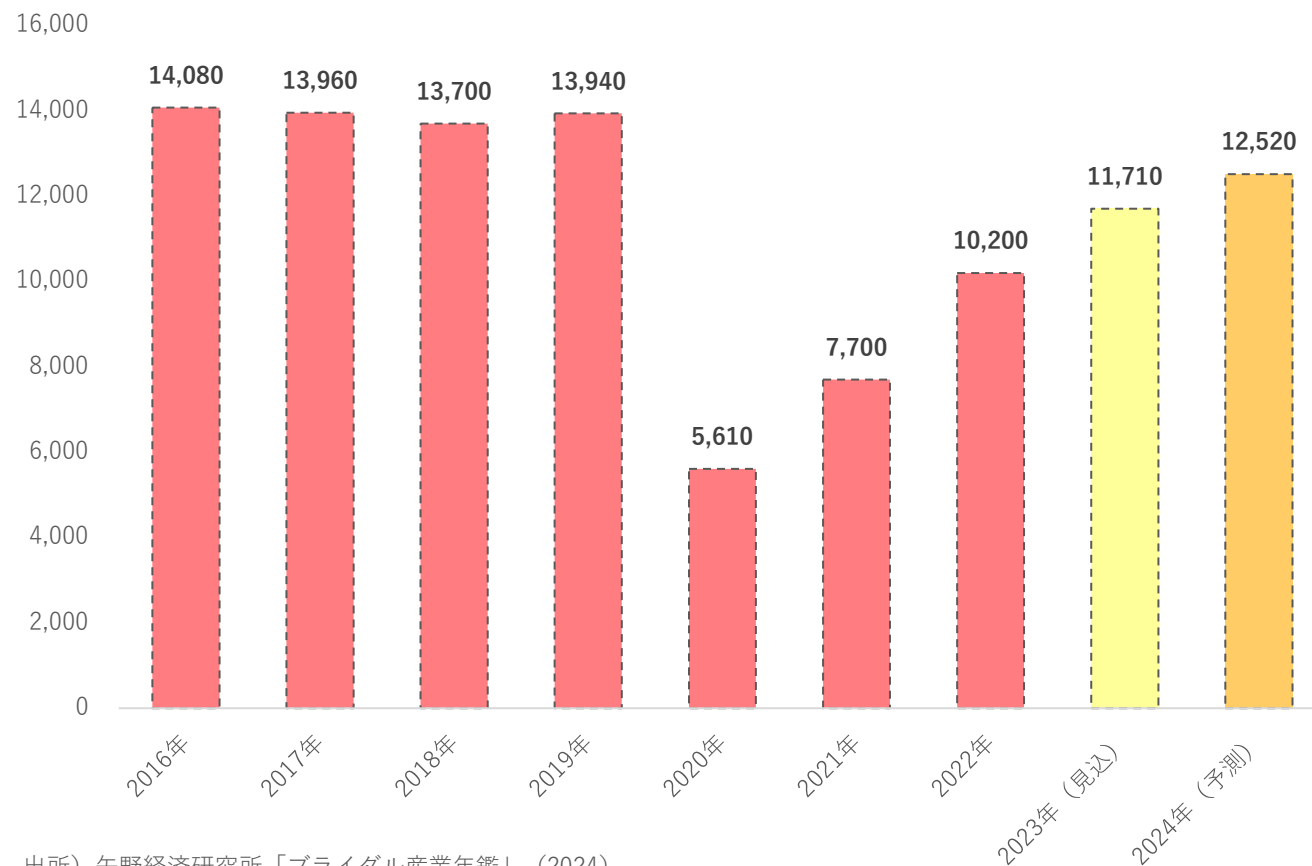
婚姻組数の推移（万組）



出所) 厚生労働省「令和4年人口動態統計」

2023年は1兆1,710億円の見込、2024年は1兆2,520億円の予測

挙式披露宴・披露パーティ市場規模推移（億円）



出所) 矢野経済研究所「ブライダル産業年鑑」（2024）

ウェディング事業の施策（写真関連事業の強化）

➤ フォトスタジオの新設



ロケーションを活かした外観



映画セットを手掛けるチームによるスタジオセット



撮影後にご利用いただけるレストラン

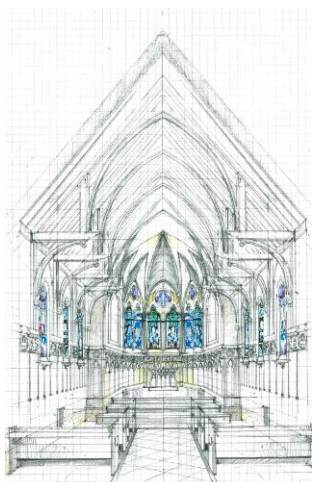
2024年秋

さいたま市にフォトスタジオを開業予定

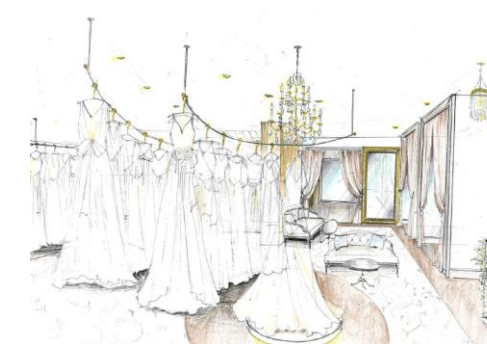
コロナ禍で認知を得たフォトウェディング市場、今後挙式披露宴の復調に伴って増える前撮り市場、七五三などのアニバーサリーフォトなど、幅広くご利用いただけるフォトスタジオを2024年秋に開業予定。

映画セットを手掛けるチームによる本格的なフォトスタジオ、幅広いラインナップを揃えたドレスショップ、撮影後の記念にご利用いただけるレストランなども開業予定。

和装事業とのシナジーもさらに強化し、成人式の前撮りにも注力、受注アップを計ります。



挙式さながらのチャペルでの撮影も可能



インポートからブランドドレスまで備えたドレスショップ

ウェディング事業の施策（沖縄リゾートウェディング事業）

➤ オープンに向けた許認可取得の最終段階

2020年12月10日 沖縄県知事より「沖縄海岸国定公園内における国定公園事業執行認可」を取得。

2022年9月20日 「沖縄県告示第337号」にて、森林法第26条の2第2項の規定により国定公園事業用地とするため、保安林の指定を解除する予定である旨、沖縄県知事より告示。



イメージ：沖縄リゾートウェディング

Phase I

- ・事業内容検討
- ・市場調査
- ・出店エリア検討

Phase II

- ・事業用地の売買契約または賃借契約締結
- ・開業準備室の開設
- ・各種法令・条例に基づく監督官庁等との事前協議

Phase III

- ・各種法令・条例に基づく監督官庁等への申請～許可
- ・建築確認（申請～許可）

Phase IV

- ・建設工事
- ・人員募集～採用
- ・サロン開設

オープン

現在

ウェディング事業の施策（中国ウェディング事業）

➤ 中国現地法人「璨臻(上海)婚慶礼儀服務有限公司」結婚式場の概況

アジアマーケットにおけるウェディング事業の拡大を目的として、中国上海市に現地法人を設立。

2019年3月16日、1施設目（上海市静安区）の結婚式場をオープンし、多くのお客様にご支持いただいております。

2022年9月11日、2施設目の結婚式場「嘉美麗徳高端婚礼会館 虹橋店」（Camelot-Hills Shanghai Hongqiao）を上海市閔行区にオープンいたしました。



➤ Camelot-Hills Shanghai 売上高

(百万円)

売上高	第1四半期会計期間 (1月～3月)	第2四半期会計期間 (4月～6月)	第3四半期会計期間 (7月～9月)	第4四半期会計期間 (10月～12月)	期間合計
2024年3月期	161	321	261	480	1,225
2023年3月期	80	2	220	387	691
増減額	+81	+318	+41	+92	+533

(注)：12月を決算月としております。

2023年3月期は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う中国上海市政府によるロックダウンの影響を大きく受けております。

IV. 会社概要

会社概要

2024年3月31日現在

社名	株式会社一蔵
上場市場	東京証券取引所 スタンダード市場
証券コード	6186
東京本社 埼玉本社	〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2丁目5番 東京神田須田町ビル7階 〒331-0815 埼玉県さいたま市北区大成町4丁目699番地1
代表者	代表取締役社長 河端 義彦
設立	1991年2月5日
資本金	50,000千円（資本準備金：1,008,916千円）
従業員数	726名（一蔵グループの正社員・契約社員数）
事業内容	<ul style="list-style-type: none">■ 和装事業 呉服等の販売、振袖等の販売・レンタル、成人式の前撮り写真撮影 成人式当日の着付け及びメイクサービス、きもの着方教室の運営等■ ウェディング事業 結婚式場の運営等

V. 參考資料

財務データ 【連結経営指標等の推移】

決算年月		2020年3月	2021年3月	2022年3月	2023年3月	2024年3月
売上高	(百万円)	18,247	14,153	18,567	19,747	20,429
経常利益	(百万円)	340	△1,533	625	570	331
親会社株主に帰属する当期純利益	(百万円)	119	△2,454	617	597	629
純資産額	(百万円)	5,913	3,422	3,404	3,994	4,531
総資産額	(百万円)	18,574	17,849	18,196	19,136	20,107
1株当たり純資産額	(円)	1,079.80	620.75	617.46	724.39	821.95
1株当たり当期純利益	(円)	21.82	△446.07	111.91	108.32	114.13
自己資本比率	(%)	31.8	19.2	18.7	20.9	22.5
自己資本当期純利益率	(%)	2.0	△52.6	18.1	16.1	14.8
営業活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	522	△717	1,730	1,063	699
投資活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△869	△369	△316	△1,494	△687
財務活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	155	1,298	△1,333	10	50
現金及び現金同等物の期末残高	(百万円)	1,306	1,533	1,640	1,254	1,361

財務データ 【連結貸借対照表】

(単位：百万円)

決算年月	2020年3月	2021年3月	2022年3月	2023年3月	2024年3月
(資産の部)					
流動資産	8,939	9,630	9,987	9,905	10,547
固定資産	9,634	8,218	8,209	9,230	9,560
有形固定資産	7,578	6,786	6,664	7,348	7,506
無形固定資産	204	143	89	170	163
投資その他の資産	1,851	1,289	1,455	1,711	1,890
資産合計	18,574	17,849	18,196	19,136	20,107
(負債の部)					
流動負債	9,923	12,088	12,731	12,581	12,324
固定負債	2,736	2,338	2,060	2,560	3,251
負債合計	12,660	14,426	14,791	15,142	15,575
(純資産の部)					
純資産合計	5,913	3,422	3,404	3,994	4,531
負債純資産合計	18,574	17,849	18,196	19,136	20,107

財務データ 【連結損益計算書】

(単位：百万円)

決算年月	2020年3月	2021年3月	2022年3月	2023年3月	2024年3月
売上高	18,247	14,153	18,567	19,747	20,429
売上原価	7,071	5,918	7,153	7,625	7,861
売上総利益	11,175	8,234	11,414	12,122	12,567
販売費及び一般管理費	10,804	10,139	10,904	11,568	12,301
営業利益	371	△1,904	510	553	266
営業外収益	29	399	161	44	99
営業外費用	59	28	46	27	33
経常利益	340	△1,533	625	570	331
特別利益	0	—	—	0	10
特別損失	72	450	111	16	56
税金等調整前当期純利益	268	△1,984	513	554	285
法人税等合計	149	469	△103	△43	△343
親会社株主に帰属する当期純利益	119	△2,454	617	597	629

お問い合わせ

株式会社一蔵 財務経理本部 経営企画・広報室

〒101-0041

東京都千代田区神田須田町2丁目5番 東京神田須田町ビル7階

TEL：03-5297-5151

E-mail：ir@ichikura.jp

【ご注意事項】

本資料にて提供されているデータや将来予測は、本資料の掲載日現在の判断や入手している情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。

また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。